



ゆ つくり、ゆつくりと季節が変わり午後になると木々の隙間から太陽の光が奥まで差し込む。その光のカーテンをかき分けるように温められたそよ風が吹き抜ける。そんな春の昼下がりをおもわせるような、でんしろう館カフェ。ジャズを聴きながらコーヒーでも味わえたら。

「田舎に住みたい」  
主人の一言で、母の故郷である田

# 錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内で頑張っている方を中心に紹介していきます。  
第76回目は、昇陽自治会の鏡園 純子さんです。



◎76人目 <sup>かがみ</sup> <sup>その</sup> <sup>じゅん</sup> <sup>こ</sup> **鏡園 純子**さん  
【昇陽自治会】

代へ移住。それまでは、鹿児島市内の車や雑音が激しい場所に住んでおり、毎日、都会の喧噪の中で過ごしていた。早くに結婚し子供にも恵まれ、専業主婦として生活していたが、「田舎に住みたい」この一言で移住し、これまでとは一転、星の輝く音さえも聞こえそうな静かな場所での生活となった。最初は不安であったが、ご近所付き合いや地域行事など多く、静かな環境ではあったが、慌ただし

「でんしろう館との出会い」  
子育てもようやく落ち着き、長い間専業主婦として生活していたが、知人の勧めもあり、何気にでんしろう館で働くことに。

「こんなスローな時間を味わえる場所があるなんて!」  
20歳で結婚し、忙しく毎日を過ごしてきた。これまでの生活が、一気にスローダウンしたようだった。立ち止まってみたら分かる心地よい感覚。

でんしろう館との出会いが、一気に10代の頃のようにワクワクとした気持ちとなった。  
若い頃から山登りや料理、子供のセーターを編むなど手先も器用で好奇心旺盛であった。

この施設を多くの方々知ってほしい。その一心で、殺伐としていた館内にコーヒーを味わえるスペース作り、食品衛生の許可を取った。  
「ここでしか食べられないスイーツをつくりたい」

平成24年10月から花瀬ロールケーキの試作に取りかかった。何度も何度も試作と失敗を繰り返した。試食会での意見は厳しい意見も多く、あきらめの思いも心をよぎった。

「ここでしか食べられないスイーツをつくりたい」その想いに原製菓の原純一郎さんがアドバイスに乗り出してくれた。花瀬の桜を使用した花瀬桜ロールケーキ、桜色のパン生地、桜色のクリーム、桜の花をトッピングし、ここでしか味わえない花瀬ブランド化へと取り組んだ。

8年の月日が過ぎる。徐々にではあるが、固定客や癒しを求め、わざわざでんしろう館へ訪れる観光客の方も増えてきた。  
毎日見ても飽きないこの窓からの景色。  
日の光は、夏らしく雲の色風の音は秋らしく……小説にでてきそうな風景がここには広がっている。

## 第61回記念 鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第61回記念鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月15日(土)から19日(水)にかけて開催されます。大会最終日の2月19日(水)は午前8時30分に根占中下をスタートし、役場前国道269号線を通り午前9時頃には、にしきの里(第1中継所)で中継されます。多くの方のご声援を宜しくお願いいたします。

**町営住宅 空き家状況**  
(2月1日現在)

**大根占地区**

特公賃	芝山団地	1戸
公営	港団地	2戸
公営	神川団地	1戸
町営	旧池田中教職員団地	1戸

**田代地区**

町営	荒田原住宅	1戸
----	-------	----

お問い合わせ及び入居希望の方は、建設課または地域振興課へご連絡ください。

**EDITORS**

●まだまだ寒い日が続きますが、沿道ではちらほらと河津桜(カワズザクラ)が満開の時期を迎え、春がすぐそこまで来ているようです。個人的には実績報告や決算などが…。まだ、春を迎えるには早いです。😊

**休日の在宅当番医**

月日	病院名	電話番号
2月23日	大根占医院	22-2658
3月2日	長浜医院	22-0137
9日	じょうさいクリニック	24-2977
16日	瀧畑クリニック	25-2575

※諸事情により変更となる場合がございますので、ご利用の前にお問い合わせください。

**人口の動き**

平成26年2月1日現在

	人口	前月号比
人口	8,673人	(△13)
男	4,055人	(△7)
女	4,618人	(△6)
世帯数	4,147戸	(△10)

△は減少  
住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれます。